

# アジア経営学会第28回全国大会

## 統一論題テーマ

### アジア消費市場の拡大と日本企業による事業機会の獲得

期間：2021年9月10日（金）～9月12日（日）

※10日は役員会のみ

場所：オンライン開催（ソフトはZoomミーティングを使用）

※アクセス方法は後日お知らせします。

#### ご挨拶

大会実行委員長 酒井 正三郎

アジア経営学会第28回全国大会は、2021年9月10日（金）から12日（日）までの日程で、中央大学を開催校として実施されます。とはいえ、新型コロナウイルス感染症が拡大し収束の見通しが立たないことから、今年度大会も昨年度に引き続き、オンライン（Zoomミーティング使用）のみによる開催となりました。よって、開催校に来られても大会には参加できません（また懇親会もありません）。

9月10日（金）は役員会議（新旧理事会）のみ、9月11日（土）は英語セッションを含む自由論題セッションと会員総会、9月12日（日）はゲストスピーカー講演と統一論題報告が行われます（自由論題セッションおよびゲストスピーカー講演・統一論題報告の詳細は別添資料を参照）。

本サーキュラーでは、会員の皆さまあて今年度大会の概要をお知らせいたしますので、ぜひご参加方についてご予定くださいますようお願い申し上げます。なお、正式の「大会プログラム」・「報告集」は大会HPに掲載される予定です。また、Zoomミーティング情報は大会前に学会MLにてお知らせいたします。

## アジア経営学会第28回全国大会実行委員会

○実行委員長：酒井正三郎
○事務局長：佐久間英俊
○実行委員：井上真里、木村有里、熊倉広志、櫻井秀子、八幡一秀、新井利英、陳玉媛
○大会事務局：中央大学
住所：〒192-0393 東京都八王子市東中野 752-1 中央大学法人秘書室（岡野祥子宛て）
e-mail：jsaam2021confc あ gmail.com ※「あ」を「@」に変換してご使用下さい。

# 大会プログラム

## <スケジュール>

### 9月11日（土）

(1) 9:30-9:40 **開会式** 実行委員長 酒井正三郎（中央大学）  
司会 佐久間英俊（中央大学）

(2) 9:40-9:50 **会長挨拶** 会長 上田義朗（流通科学大学）  
司会 佐久間英俊（中央大学）

(3) 10:00-15:45 **自由論題セッションおよび英語セッション**

※報告 25分、コメント 5分、討論 15分。

※英語セッションは報告人数の関係から別時間を採用していますので、ご注意ください。詳しくはプログラムをご覧ください。

※途中 11:45~13:00 は昼食休憩

(4) 16:10-17:10 **会員総会**

※時刻は予定です。セッションの終了状況により多少ずれることもあります。

### 9月12日（日）

(1) 9:30-15:00 **統一論題報告**

※ゲストスピーカーによる特別報告 1本。通常報告 3件、討論者 3名。

※途中 11:30~12:30 は昼食休憩。詳しくはプログラムをご覧ください。

(2) 15:00-15:10 **閉会式** 新会長

※統一論題終了後すぐに行いますので、時刻は変更される場合があります。

## <役員会スケジュール>

### 9月10日（金）

(1) 13:00-16:00 **(現) 理事会**

(2) 16:30-17:30 (新) 理事会 (会長選出の他、各役員選出等)

※オンラインで開催します。アクセス方法等は学会事務局より別途お知らせします。

9月11日(土)

(3) 12:30-13:00 評議員会

※上記の時刻は暫定です。昼休みに30分間を予定しています。

9月12日(日)

(4) 15:30-16:30 (新) 理事会 (各役員の選出等)

※時刻は暫定です。

アジア経営学会第28回全国大会自由論題セッション及び英語セッション(9月11日)【改定版】

各会場 (Zoom)				会場 (Zoom)				
A会場		B会場		C会場		英語セッション		
10:00	司会	劉永鶴 (東洋大学)	根岸加奈子 (宇部工業高等専門学校)	小阪隆秀 (日本大学・名誉教授)	10:00	司会	笠原民子 (静岡県立大学)	
01	テーマ	日本におけるマネジメント・ファッションの形成	在日中国人技能実習生の労使問題の研究	中国EV用2次電池のバリューチェーン—大連、惠州企業を中心に—	01	テーマ	Small Sake Brewery's Challenge for Business Transformation & Overseas Development	
	報告者	真木志亮 (九州産業大学)	崔星宇 (流通科学大学・院)	李在錫 (広島市立大学)、堀海彦 (鹿児島県立国際大学)、ステファン・ハイム (京都大学)、垣谷幸介 (トヨタ自動車)		報告者	松井義司 (鈴鹿大学)	
10:45	討論者	廣畑伸雄 (山口大学)	平澤克彦 (日本大学)	韓金江 (岐阜協立大学)	10:45	討論者	藤澤武史 (関西学院大学)	
11:00	司会	劉永鶴 (東洋大学)	根岸加奈子 (宇部工業高等専門学校)	小阪隆秀 (日本大学・名誉教授)	11:00	司会	笠原民子 (静岡県立大学)	
02	テーマ	アジアの開発途上国における企業の収益率	中国人従業員の意識と行動に対する日本人上司の評価の実態—日本人管理者へのアンケート調査から—	世界ドローン最大手DJIのプラットフォーム構築に関する分析	02	テーマ	Transaction governance in multinational companies' supplier networks in a developing country: multiple case studies of Vietnam's motorcycle industry	
	報告者	廣畑伸雄 (山口大学)	辻周吾 (流通科学大学)	陳晋 (立命館大学)		報告者	Nguyen Kim Ngan (東北大学)	
11:45	討論者	次沢真 (小樽商科大学)	木村有里 (中央大学)	李澤建 (大阪産業大学)	11:45	討論者	三嶋恒平 (慶應義塾大学)	
ランチャタイム (評議員を別室にて開催)				ランチャタイム (評議員)				
各会場 (Zoom)				会場 (Zoom)				
D会場		E会場		F会場		英語セッション		
13:00	司会	酒井正三郎 (中央大学)	熊倉広志 (中央大学)	小林守 (専修大学)	秋野晶二 (立教大学)	13:00	司会	加藤志津子 (明治大学)
01	テーマ	中東系の老舗繊維商社によるビジネスモデル転換に関する考察：日本での創業百年を超えるデビス (株) の事例分析	インクルーシブ・グロース (IG) を実現する途上国ビジネスの16戦略とカギリストの役割—グッドマン銀行・BRGを事例として—	塗料ビジネスにおけるアジア企業との日系合弁事業	半導体産業における水平分業の変容について	03	テーマ	Study on Public-Private Partnerships (PPP) in Indian Infrastructure Sector: Issues and Solution
	報告者	崔相讓 (関西大学)	足立伸也 (法政大学・院)	竹下伸一 (京都大学・院)	中原裕美子 (九州産業大学)		報告者	Mohan Phuyal (創価大学・院)
13:45	討論者	櫻井秀子 (中央大学)	荒井将志 (亜細亜大学)	坂本義和 (日本大学)	肥塚浩 (立命館大学)	13:45	討論者	伊藤晋 (新潟県立大学)
14:00	司会	酒井正三郎 (中央大学)	熊倉広志 (中央大学)	小林守 (専修大学)	秋野晶二 (立教大学)	14:00	司会	加藤志津子 (明治大学)
02	テーマ	統合理論のロジックに関する研究—統合思想の歴史的評価と統合パラダイムの構築を目指して—	インドの酪農業協同組合によるアグリビジネスの確立と貧困への対応	ベトナムにおけるコングロマリットに関する一考察—BRG Groupを事例を中心として— A Study on Conglomerates in Vietnam -Case Study of BRG Group with a focus-	アジアにおけるICT多国籍企業の経営管理	04	テーマ	Border-transcending e-commerce under the COVID-19 pandemic: A case study of Livestream broadcasting of a Chinese-run enterprise in Osaka
	報告者	吳晶津 (流通科学大学・院)	下門直人 (名古屋外国語大学)	税所哲郎 (国士舘大学)	林尚毅 (龍谷大学)		報告者	Wei Di (同志社大学)
14:45	討論者	風間信隆 (明治大学)	林偉史 (立教大学・名誉教授)	那須野公人 (作新学院大学・名誉教授)	中川涼司 (立命館大学)	14:45	討論者	なし (進行時間の関係で)
15:00	司会	酒井正三郎 (中央大学)	熊倉広志 (中央大学)	小林守 (専修大学)	秋野晶二 (立教大学)	15:00	司会	四宮由紀子 (近畿大学)
03	テーマ	消費者のCSR認知とアトリビューション—消費者のCSR支持の調整効果への探索	開発途上国フィリピンの貧困、所得格差と発展メカニズム	探索的と活用的なMKAsが価値創造メカニズムに及ぼす影響	日米独企業のグローバル・イノベーション・ネットワークの相異：タイ拠点を中心とする事例	05	テーマ	The M&A Strategies of Asian Emerging Market Multinationals
	報告者	社雨軒 (東北大学・院)	林偉史 (立教大学・名誉教授)	高瑞紅 (大阪経済大学)	近藤正幸 (開志専門職大学)		報告者	藤澤武史 (関西学院大学)
15:45	討論者	高久保豊 (日本大学)	吉野文雄 (拓殖大学)	税所哲郎 (国士舘大学)	関智一 (立教大学)	15:45	討論者	なし (進行時間の関係で)

会員総会

16:10	会員総会	会場は別途お知らせします
17:10		

## アジア経営学会第 28 回大会統一論題プログラム

	司会：酒井正三郎（中央大学） 吉野文雄（拓殖大学）
9:30～9:35	統一論題趣旨説明 風間信隆（明治大学）
9:35～10:10	第 1 報告 楊秋麗（京都橘大学）・中川涼司（立命館大学）
	「中国市場における資生堂のブランド戦略の変化 －市場のアップグレードと EC 発展への対応－」
	討論者 井口知栄（慶應義塾大学）
10:15～10:50	第 2 報告 石川和男（専修大学）
	「ASEAN における耐久消費財市場と日本企業の事業機会獲得戦略－自動車 を事例として－」
	討論者 陳 晋（立命館大学）
10:55～11:30	第 3 報告 三嶋恒平（慶應義塾大学）
	「インドの二輪車市場」
	討論者 太田原準（同志社大学）
11:30～12:30	（昼食休憩）
12:30～13:25	ゲスト 広浦康勝（ハウス食品グループ本社株式会社・専務取締役）
	「ハウス食品グループの海外でのブランドづくり（アセアン機能性飲料 展開）」
13:30～15:00	パネルディスカッション 司会兼モデレーター 藤澤武史（関西学院大学）
	楊秋麗、中川涼司、石川和夫、三嶋恒平、井口知栄、陳晋、太田原準

# アジア経営学会第 28 回大会統一論題趣意書

アジア経営学会第 28 回全国大会プログラム委員会（敬称略）  
（委員長） 風間信隆（明治大学）  
（副委員長） 藤澤武史（関西学院大学）  
（委員） 酒井正三郎（中央大学）  
（委員） 中川涼司（立命館大学）  
（委員） 韓金江（岐阜協立大学）

## アジア消費市場の拡大と日本企業による事業機会の獲得

“The Enlargement of Asian Consumption Markets and the Way for Japanese Companies to Win their Business Opportunities”

### 【統一論題の主旨】

コロナ禍の下で第 27 回全国大会は、自由論題報告のみに限定されたオンライン形式での開催となった。そのため第 27 回全国大会統一論題の報告は中止せざるを得なかったが、この統一論題テーマの研究意義は今日でも失われていない。そこで第 28 回大会では、第 27 回全国大会の統一論題を再び掲げるとともに、米中分断(デカップリング)や DX(デジタル・トランスフォーメーション)、ウィズコロナないしアフターコロナという新たな状況をも踏まえつつ、アジアの消費市場の拡大と日本企業による事業機会の獲得の可能性を議論するものとする。第 28 回大会の統一論題の趣旨説明と大会報告者は以下のように第 27 回をそのまま踏襲して以下のように設定することとする。

近年、自由論題でこそ、インドの空調機器市場におけるダイキンの戦略をはじめ研究報告が盛んになってきた一方、統一論題としては、アジアの経済、産業、企業がキーワードに挙げられ続け、アジアの市場を正面から取り上げる機会は稀でしかなかった。第 2 に、アジア市場の拡大はグローバル競争の激化をもたらす中、アジア企業の成長が目覚ましく、標的市場国や販売対象品目によっては日本企業の苦戦が伝えられている。

そこで、第 28 回全国大会では、アジア主要国における消費財市場（完成品）やサービス市場の中から日本企業にとって戦略的に重要度の高い消費市場を取り上げ、日本企業が今後、アジア消費市場の拡大をどの程度市場機会として取り込めるのかに焦点を当てていく。

かかる市場機会を日本企業が事業機会としていける可能性と限界を正しく指摘し、予測の精度を上げるにはどのような分析を要するかが、統一論題セッションで最も問われよう。

その意味で、統一テーマの一方の側を成す、サービスの消費が伸びた原因の分析も含むアジア消費市場の拡大に関する要因分析を通じた特徴の抽出は欠かせない。そして、もう一方の側となる、日本企業が果たしてどのような戦略を展開して、アジア消費市場の中で競争優位を確立しているのかも要注目となろう。むしろ、成長市場を機会と捉えきれず、脅威と化してしまうケースの分析も戦略的示唆に富むであろう。

（スケジュールは別表）